

Q.2019(平成31年)の年忌法要は、何年のご命日の人ですか？

A.法事を勤める年は、ご命日の年から1年後を1周忌、その後、〇回忌は、(〇-1)年後になります。2019年は、以下の表のようになります。

2019年 年回表

1周忌	平成30(2018)年
3回忌	平成29(2017)年
7回忌	平成25(2013)年
13回忌	平成19(2007)年
17回忌	平成15(2003)年
23回忌	平成9(1997)年
27回忌	平成5(1993)年
33回忌	昭和62(1987)年
37回忌	昭和58(1983)年
43回忌	昭和52(1977)年
47回忌	昭和48(1973)年
50回忌	昭和45(1970)年

※お寺の本堂で、法要をお勤めすることもできます。おまいりする方が、お一人でも大丈夫です。また、時期が遅れたからといって、問題ありません。せっかくのご縁を大切にしてください。

書院等で、法要後の食事をすることも可能ですので、詳細はおたずねください！

名古屋市昭和区西畑町十六 真宗大谷派

☎ 052-751-8685

mail ganjouji@nagoya30.net

http://www.nagoya30.net/temple/ganjouji/index.html

願成寺



定例法話のご案内

1月8日(火)

午前10:00~午後2:00頃まで

(午前10:00 正信偈のけいこ・法話)

午後1:00 正信偈のけいこ・法話)

お齋(昼食):おぜんざい

法話 里雄 敬意 先生

この通信も第4号の発行をすることになりました。特に名前を付けずに「願成寺通信」としてきましたが、今回からこの通信に「大心海」という名前で、しばらく発行しようと思います(私の問題意識が変わると、突然タイトルが変わるかもしれませんが…)

さて、親鸞さんは、阿弥陀如来の呼び名、呼び方を、そのはたらきなどから、37種類もの言い方で、表現されています。そのことを「三十七の徳号」ともいいますが、『大心海』は、その中のひとつに上げられています。

阿弥陀如来のはたらきを、海のように広大で、深い慈悲心を持った仏様というように、受け止められた表現のように思います。また、海は、清流濁流の差別なく川の流れを受け入れ同じ一味にする(『如衆水入海一味』=「衆水の海に入りて一味なるが如し」(正信偈))ように、衆生の性質の良し悪しを問わず救い、涅槃の一味にする阿弥陀如来のはたらきを讃えている言葉です。

親鸞さんの書かれた書物の中に、「海」という言葉がよくでてきます。この続きは次回ご紹介します。